

大沢自治会

笑いのたえない世代間交流

恒例の「大沢ストック花まつり」は平成 25 年に「おおさわ祭り」へ名称を変え、より全世代が楽しめる行事へ進化。大沢保育園の園児によるダンスをはじめ、保存会による大沢さんさ踊りや大沢田植え踊りの披露、餅まき、イワナのつかみ取り、地域のシンボルであるストックの花や野菜の販売、商工会支援による出店、さらにはスカットボール等、盛り沢山の内容で、会場の南部曲がり家「籠屋敷」が元気な笑い声に包まれる。



(上) おおさわ祭り
(下) 大沢健康ゲーム交流会

「大沢健康ゲーム交流会」は自治会の楽しいことを子どもたちや若い世代に体験させたいと、平成 28 年度から取り組みを開始。第 4 回となる令和元年度は、大沢自治会創立 50 周年記念交流会も兼ねて行われた。麻雀、トランプ、かるた、大沢独自の健康体操やみんなで歌う音楽療法、ピン

ゴ等、大人も子どもも楽しめる行事となっている。また、この日の昼食は、日々ご飯を作ってくれる女性の方々に感謝を込めて、前日の夜に男性陣がカレー作り。お腹も心も満たされる 1 日となった。

文化祭

令和 2 年度から始まった文化祭は大沢保育園・地区小学生・婦人会・百寿会から寄せられた力作を多数展示。小学生の作品は、夏休みの工作として学校で展示されたのち、教養部が学校から引き取り集落センターに飾る。児童たちは展示の機会が増えることで制作にも力が入り、地域の人たちも孫や子どもたちの作品を見ることができた。コロナ禍で様々な行事が中止となる中、地域の人たちが成果を発表できる場であり、地域の人たちの知る場の創出として今後も続けていきたい。

まごころ昼食会

保健部主導の「まごころ昼食会」は毎月 1 回 60 歳以上を対象として開かれており、地域の高齢者の憩いの場となっている。大沢自治会には県で認定されている食の匠が 3 人存在している。昼食会では、匠たちの技が光る大沢の野菜を豊富に使ったおいしい料理が提供され、参加者を大いによろこばせている。また、「まごころ昼食会」では、ビンゴを使った催しも実施されており、食事だけでなく、ゲームも楽しむことができる会合となっている。



後列左から藤倉睦子氏(民生委員)、大坪薫子氏(保健福祉部長)、十日市良勝氏(教養部長)、前列左から澤村佐多夫氏(総務部長)、齊藤健二氏(自治会長)、菊地玲子氏(副会長)、藤倉健吉氏(副会長)、取材時撮影